

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

1 産地基幹施設等支援タイプ
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

（都道府県名：石川県 令和4年度）

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 類別	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	メニュー② 類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績② (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				計画時(△△年)	1年後(□□年)	2年後(◇◇年)	3年後(○○年)	目標値(○○年)	達成率				計画時(△△年)	1年後(□□年)	2年後(◇◇年)	3年後(○○年)	目標値(○○年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他					
白山市	白山農業協同組合	土地利用型作物(稲)	9 高温耐性品種の作付割合(品種：ゆめみづほ)	11.9% (H30)	—	—	16.8% (R4)	16.0% (R4)	119.5%	高温耐性品種の作付けが4.9%増加した。 (参考) 16.8% (R4)	10 土地利用型作物(稲)	多収性品種の作付面積の割合(品種：ゆめみづほ、ひゃくまん穀)	15.2% (H30)	—	—	27.1% (R4)	21.3% (R4)	195.1%	多収性品種の作付けが11.9%増加した。 (参考) 27.1% (R4)	建設工事一式 種子種苗生産関連施設製造 請負工事一式	123,090,000	38,499,000	0	9,624,000	74,967,000	R3.3.25	目標を達成した。	目標を達成した。	
加賀市	加賀農業協同組合	野菜(ブロッコリー)	6 【ブロッコリー】 利用率の向上 再編後の集出荷貯蔵施設の利用率向上	処理量 500t 利用率 102.0% (H30)			処理量 678t 利用率 90.3% (R4)	処理量 751t 利用率 100% (R4)	90.3%	施設利用率が11.7%減少した。 (参考) 処理量 678t 利用率 90.3% (R4)	130 野菜(かぼちゃ)	【かぼちゃ】 契約栽培の割合 全出荷量に占める契約取引の割合が増加	全出荷量234t 契約取引量 120t 契約取引の割合 51.3% (H30)			全出荷量219t 契約取引量 175t 契約取引の割合 79.9% (R4)	全出荷量351t 契約取引量 297t 契約取引の割合 84.6% (R4)	85.9%	契約取引の割合が28.6%増加した。 (参考) 全出荷量 219t 契約取引量 175t 契約取引の割合 79.9% (R4)	・集出荷貯蔵施設(延床面積 2,475㎡、ブロッコリー、かぼちゃ選果設備一式、予冷、風乾施設)	609,070,000	233,559,000	0	28,027,000	347,484,000	R3.3.31	▼ブロッコリー 生育初期の干ばつによる生育不良に加え、病害虫の発生があり、収量が目標約8割程度となった。 栽培講習による指導を通じて目標収量確保を目指す。 ▼かぼちゃ 着果不良や病害虫の発生により、計画収量量が確保できず、契約先への予定量(契約量)を出荷できなかった。 栽培講習による指導を通じて目標収量確保を目指す。	▼ブロッコリー 生育初期の干ばつによる生育不良に加え、病害虫の発生があり、収量が目標約9割程度となった。 栽培講習による指導を通じて目標収量確保が図られるよう指導する。 ▼かぼちゃ 着果不良や病害虫の発生により、計画収量量が確保できず、契約先への予定量(契約量)を出荷できなかった。 栽培講習による指導を通じて目標収量確保が図られるよう指導する。	

小松市	小松市農業協同組合	野菜(トマト・きゅうり・にんじん)	6	【トマト、きゅうり、にんじん】 利用率の向上 再編後の集出荷貯蔵施設の利用率向上	トマト 処理量 2,020t 利用率 52.1%	きゅうり 処理量 302t 利用率 22.7%	にんじん 処理量 945t 利用率 11.0%	(H30)	トマト 処理量 1,078t 利用率 67.4%	きゅうり 処理量 90t 利用率 96.7%	にんじん 処理量 130t 利用率 56.5%	(R4)	トマト 処理量 1,600t 利用率 100%	きゅうり 処理量 87t 利用率 100%	にんじん 処理量 230t 利用率 100%	にんじん 処理量 130t 利用率 100%	施設利用率についてトマトが74%、きゅうりが15.3%、にんじんが45.5%増加した。 (参考) トマト処理量1,078t利用率67.4% きゅうり処理量87t利用率100% にんじん処理量230t利用率100%	野菜(にんじん)	130	【にんじん】 契約栽培の割合 全出荷量に占める契約取引の割合を増加	全出荷量 104,340kg 契約取引量 52t 契約取引の割合 49.8% (H30)		全出荷量 130t 契約取引量 67t 契約取引の割合 51.5% (R4)	全出荷量 230t 契約取引量 195t 契約取引の割合 84.8% (R4)	4.9%	契約取引の割合が1.7%増加した。 (参考) 全出荷量130t 契約取引量67t 契約取引の割合51.5% (R4)	・集出荷貯蔵施設(延床面積3,353.41㎡、トマト、きゅうり・にんじん選果設備一式、予冷設備)	865,960,700	257,837,000	0	25,783,000	582,340,700	R3.4.26	▼トト 肥料やパイプハウスなどの施設資材の高騰により、生産者の生産拡大が計画どおり進まなかった。 今後、肥料高騰対策や施設整備支援事業を周知するほか、新規就農者の発掘を進める。 ▼ニンジン R4.8月の大雨や台風による湿害の影響により発芽不良や腐敗が発生したことによる作物の品質不良が大きく収穫が目標の約4割となった。 また、上記理由により、計画収穫量が確保できず、契約取引先への予定量を出荷できなかった。 栽培講習による指導を通じて目標収量確保を目指す。	▼トト 肥料やパイプハウスなどの施設資材の高騰により、生産者の生産拡大が計画どおり進まなかった。 今後、肥料高騰対策や施設整備支援事業を周知するほか、新規就農者の発掘が図られるよう指導する。 ▼ニンジン R4.8月の大雨や台風による湿害の影響により発芽不良や腐敗が発生したことによる作物の品質不良が大きく収穫が目標の約4割となった。 また、上記理由により、計画収穫量が確保できず、契約取引先への予定量を出荷できなかった。 栽培講習による指導を通じて目標収量確保が図られるよう指導する。
-----	-----------	-------------------	---	--	--------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------	--------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	------	-------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	---	----------	-----	---	--	--	--	---	------	--	--	-------------	-------------	---	------------	-------------	---------	--	--

都道府県平均達成率 75.2% 総合所見 目標が未達となったものについては、令和4年8月の小松市を中心とした大雨など気象の影響を大きく受けたものもあるが、施設利用者の伸び悩みなど改善の余地を残すものもあるため、目標達成にむけ、引き続き、関係機関と連携し、事業実施主体を指導する。

- (注) 1 別紙様式1号の1の(2)の1に準じて作成すること。
2 要綱第3の2の(2)のアの(ア)のただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。